

2020年度コ・メディカル形態機能学会総会 議事録

開催日：2020年9月12日（土）15：00～16：00

開催地：オンライン（ZOOM）

議長：榊間春利先生（鹿児島大学）

書記：大塚章太郎

1. 会の成立の確認（田口会長）

出席者29名、委任状121名、合計150名、半数120名を超え総会は成立

2. 議長の選出（田口会長）

議長として鹿児島大学の榊間春利教授が選出され、会員の承認のもと会の進行が行われた。

議題：議長 榊間春利 先生

1. 選挙管理委員会（大島選挙管理委員）

有効投票人数107人で8名の新役員が選出された。任期は、2020年4月1日から2023年3月31日。賛成多数で可決され、新役員が承認された。

新会長の挨拶 新役員の紹介

新会長は、北里大学の田口 明子が選出され、それぞれの新役員の紹介が行われた。

副会長兼編集委員長は、埼玉医科大学の時田 幸之輔、副会長兼学術委員長は、鹿児島大学の榊間 春利先生、副会長兼会計委員長は、山形大学の松田 友美、副会長兼広報委員長は、大分大学の河上 敬介、編集委員は、鳥取看護大の荒川 満枝、学術委員は、山形大学の石田 陽子、広報委員には、名古屋大学の大島 千佳が就任された。

2. 令和元年度事業報告（田口会長）

1) 第18回学術集会の開催報告（第18回学術集会長 中谷先生）

2019年9月7日（土）、8日（日）金沢大学鶴間キャンパス

集会長 中谷嘉男 先生

参加者78名、スタッフ30名、奨励賞口演13題、一般口演13題、示説14題、特別講演1題の発表が行われた。

2) 2019年度末における会員数

会員数

現会員数：240名（令和2年3月31日時点）新規入会者16名、退会者17名

3. 令和元年度会計報告（田口会長）

1) 令和元年度会計報告

令和元年度収入：2,420,407円。

会費収入は、前年度から10万円弱減収している。その理由として、前年度の会費収入は、未払者の支払いが多く10万円強の増収があったためである。今年度の会費収入は例年通りであった。会誌17巻2号と会誌18巻1号の掲載料として72,900円と82,890円が収入として計上され、さらに金沢大学学会時に31冊分の会誌18巻1号が購入され、21,700円を売り上げとして計上した。それ以外の収入は例年通りであった。

令和元年度支出：1,087,848円。予備費：1,332,559円。合計2,420,407円。

支出の多くは、会誌の支払いであり、会誌第17巻2号、会誌18巻1号の支払はそれぞれ、340,615円、358,462円を支出として計上した。J-STAGEへの掲載論文が増加し、掲載料が34,520円となった。その他の支出は例年通りであった。

総会参加者より質問はなく、賛成多数で承認された。

2) 監査報告（野田監事）

野田亨先生より、高橋敬先生との監査の結果、正しく使用されていたとの報告がなされた。

4. 令和2年度事業計画（田口会長）

1) 事業計画

本年度、第19回学術集会を鹿児島で行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により延期となった。延期に伴い、2021年度に第19回学術集会を鹿児島で行う。集会長は榊間春利先生で変更はない。2022年度に第20回（相模原：集会長 田口 明子先生）開催、2023年年度に第21回（山形：集会長 石田 陽子先生）開催となった。賛成多数で事業計画は承認された。

5. 令和2年度予算案（田口会長）

1) 令和2年度収入について

本学会は、ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行に資産を預けていたが、ゆうちょ銀行に一本化した。三菱UFJ銀行に口座はあるが0円となっている。監査にも報告し、承認済みである。

令和2年度収入は、2,220,900円で予算立てしており、会費収入は、720,000円を予定している。

その他の収入は例年通りの予定である。

2) 令和2年度支出について

小計857,915円、繰越を含め、2,220,900円を予定している。会誌第18巻2号と会誌19巻1号の支払いがそれぞれ300,000円計上されている。掲載論文数が増加してきており、計上した支出を超える可能性がある。その他の支出は、例年通りの予定である。

6. 「形態・機能」の編集・発行状況（時田編集委員長）

機関紙第19号1号の発行について、現会員240名に発送した。1論文が掲載され、この論文は本学会「若手教育・研究支援事業」の補助対象である。論文の謝辞にその旨を記載していただく。

4月から8月までの間に2本の論文が投稿され、1論文が採択に至り、1論文は審査中である。時田編集委員長より迅速に査読いただいた会員各位に感謝が述べられた。

7. 次世代の会の活動について（次世代の会より）

1) 令和元年度事業報告

次世代の会若手教育・研究支援事業として、「形態・機能」18巻1号へ2編の論文掲載料の支援を行った。

2) 令和2年度事業計画

若手教育・研究支援事業を対象者に広く募集し、掲載に向けて支援を行う。

3) 今後の次世代の会の活動について

次世代の会の存続およびその方向性について、次世代の会メンバーでメール会議にて審議した結果、今回の役員改選において、次世代の会メンバーの大半が役員に任命されたことを受け、次世代の会の活動を役員会に持ち上げることと決定した。したがって、次世代の会は今年度をもって解散とし、次世代の会企画の「若手教育・研究支援事業」については、学会が継続して行うとのこととなった。

8. 第19回学術集会長挨拶（榎間先生）

会期 2021年9月11日（土）、12日（日）鹿児島大学医学部 榎間春利集会長

9. その他（田口会長）

1) 会則の変更について

永年会員の創設(特別会員の廃止)について 会則 第3章 第4 2)

特別会員の名称を永年会員に変更することは、賛成多数で承認された。しかし、会則への記載文章については、総会内では結論に至らず、今後、役員会で話し合い、検討することで承認された。

議長解任 総会終了

2020年9月12日

司会 榎間 春利 書記 大塚 章太郎